

コロンビアの最新動向(10月1日～10月31日)

I. 政治・経済

1. 公定歩合は据え置き、インフレは再び上昇

- 10月24日、中銀は公定歩合を現在の10.0%に据え置くことを発表した。
- 金融不安、世界経済の減速、コモディティ価格下落などを受けて、国内経済の停滞を懸念する産業界や政府からは、利下げを要求する声が強まっている¹。
- 一方、10月のインフレ上昇率(年間)は、7.97%となり、前月の7.57%から更に上昇、2008年の目標値(3.5-4.5%)の約2倍の水準となっている。

2. 金融不安を受け、国際機関からの借り入れを拡大

- 10月14日、財務省は2009年に予定している海外での資金調達(24億ドル)について、全額を国際機関から借り入れる旨を発表した。内訳は、IDBと世界銀行がそれぞれ10億ドル、CAFが4億ドルとなっている。
- 国際金融市場の混乱を受け²、国際機関から必要な融資枠を確保したもの。当初、財務省は24億ドルのうち14億ドルのみを国際機関からの借り入れとし、残り10億ドルについては国債を発行する計画であった。対内債務については、当初計画どおり24.5兆ペソ(約103.8億ドル)の国債発行を予定している。
- 一方、10月29日、議会は、世界的な金融不安への危機対応として、政府に対し15億ドルの臨時クレジットラインを設けることを承認した。これによって、政府や金融セクターの資金繰りに深刻な事態が発生した場合には、政府は国際機関もしくは商業銀行から借り入れを行い、短時間で財源を確保することが可能となる。
- コロンビアの金融セクターは、現在のところ金融危機の影響は受けていないと見られている。10月29日に発表されたBancolombiaの第3四半期決算は市場予想を大幅に上回る前年同期比16%の増益であった。しかし、ペソの急激な下落³等により、今後いくつかの金融機関が問題に直面する可能性もある。
- 政府は2009～2011年にIMF及び世銀から融資を受けることも検討している。

¹ 政府は2009年GDP成長率の見通しを5%から3-4%に下方修正している

² 10月23日には、コロンビア国債と米国債との利回り格差は741.2bpまで拡大した

³ ペソは6月のピーク時からおよそ30%下落している

3. 2008 年上半期の公的財政収支はGDP比 1.4%の黒字

- 財務省の発表によると、2008 年上半期の公的財政収支(中央、地方及び公社⁴)は 6.8 兆ペソ(約 28.4 億ドル)、GDP比では 1.4%の黒字となり、前年同期(2.02 兆ペソ、GDP比 0.5%の黒字)に比べて大幅に改善した。
- 中央政府の財政収支は、5,110 億ペソ(約 2.14 億ドル)、GDP 比マイナス 0.1%の赤字前年同期(5,500 億ペソ、GDP 比 0.1%)とほぼ同じであった。
- 一方、財務省によると、2008 年通期の中央財政収支は GDP 比マイナス 2.8-2.9%の赤字となる見通し。国税局によると、9 月末までの税収は目標値に届いておらず、税収の減少などが予想される。
- 財務省は 2008、2009 年(通期)の公的財政収支の目標を、それぞれ GDP 比マイナス 1%、同マイナス 1.4%の赤字としている。

4. 議会が大統領四選を認める法案を否決

- 10 月 29 日、議会はウリベ大統領が 2010 年に三選となった場合、2014 年に四選を認める法案を否決した。
- 2010 年のウリベ大統領三選については、憲法改正を求める国民投票の実施について議会で審議中、12 月 16 日までに決議が行われる。

II. 石油その他の資源セクター

1. Ecopetrol、金融不安を受けて投資計画の見直しを検討

- Ecopetrol は、2009 年に計画されているプロジェクトへの投資計画を見直す方向であることを明らかにした。
- 今回の見直しは、世界の金融不安などの国際的な環境変化を受けたもの。一方、Ecopetrol はおよそ 50 億ドルの手元資金があるとしており、投資家に冷静を保つよう呼びかけている。
- Ecopetrol の 2008 年の投資額は、石油化学事業(ポリプロピレン製造会社)への新たな投資や、米メキシコ湾岸の K2 プロジェクトへの参加によって、当初計画の 36 億ドルを上回る 48 億ドルに上る見通し。10 月 22 日には、Ecopetrol はメキシコ湾(テキサス沖)の 2 鉱区について、BP と共同で天然ガス探鉱を行うプロジェクト契約(1.2 億ドル)を結び、2 鉱区の利権(各 15%、30%)を獲得している。
- また、Ecopetrol はエタノールやバイオディーゼル事業の拡大を目指しており、今後 2 年間で 1.4 億ドルを投じ、ジャノ盆地 1.1 万 ha の土地にエタノール・プラント(33 万 l/d)を建設する計画。
- Ecopetrol が 2008 年 2 月に発表した投資計画では、2015 年までに 600 億ドルを投資し、石油生産量を 100 万 b/d まで拡大する内容となっている。

以上

⁴ Ecopetrol、Isagen を除く

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。